

ことば



令和7年6月
舞鶴市立余内小学校
通級指導教室 75-0379

自分はどうしたいかを伝えること

通級指導教室では、活動の中で気持ちを解放させたり自分の思いを話したりすることも大切にしています。児童によって個別でじっくりと担当者と話をしたり、活動したりしている児童もいれば、グループ指導で友達との活動を中心に取り組んでいる児童もいます。時にはつい自分本位になることもあります。自分も相手も気持ちよく過ごせるにはどうしたらよいかをその都度考えさせています。

例えば順番を決める時には、話し合いで決めたり、ジャンケンで決めたりしています。中には、譲ってくれる子もいます。そして、「この前譲ってくれたから、今度は譲るよ。」と相手を思う言葉が聞かれたり、「前は譲ったから、今日は先にやりたいな。」と自分の思いを話す場面も見られたりします。この小さなことの積み重ねが、学校や社会でお互いが気持ちよく過ごせるコミュニケーションの力になっていくと感じています。

先日、採れたてのそらまめを見せて、絵本の紹介をしました。さやを開いた中身をさわって「水っぽい!」「ふわふわ〜!」と子どもたちの様々なイメージが広がりました。季節のものにもふれて、五感を大切にしながら、イメージや言葉を広げていきたいです。



参考図書：「そらまめくんのベッド」小学館



6月の予定



- 2日(月) 新担当者教室見学(午前)
- 3日(火) ~ 本校通級児童担任参観
- 16日(月) ~ 本校通級児童保護者参観

少しずつ暑い日が多くなってきましたので、水筒と汗が拭けるタオルかハンカチを持たせてください。

よろしくお願いします。

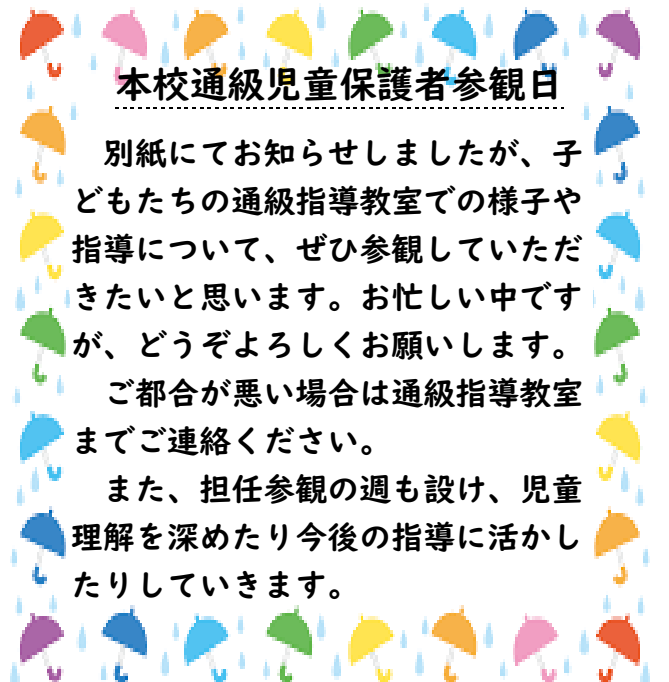


本校通級児童保護者参観日

別紙にてお知らせしましたが、子どもたちの通級指導教室での様子や指導について、ぜひ参観していただきたいと思います。お忙しい中ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

ご都合が悪い場合は通級指導教室までご連絡ください。

また、担任参観の週も設け、児童理解を深めたり今後の指導に活かしたりしていきます。





折り紙の楽しさを味わってみよう



7世紀の初めに大陸から紙の製法が日本に伝えられたのち、日本人の工夫によって薄くて丈夫な紙『和紙』が生まれました。室町時代に折り方そのものを楽しむようになったのが「折り紙」だそうです。江戸時代に入ると紙の生産量も増え、「折り紙」は多くの人に親しまれるようになりました。1797年には世界で最も古い折り紙の本「秘傳千羽鶴折形」が出版されています。明治時代に入ると「折り紙」は幼稚園教育にも取り入れられ小学校では、図画でも教えるようになります。現在では、「折り紙」は世界各地に広がっています。折り紙には一体どんな魅力があるのでしょうか？

1 手先の器用さの向上

正確に折る、端を揃える、細かい部分を調整するなど、手先の細やかな動作が必要です。さらには指先を使って小さな部分を曲げたり形を整えたりします。これらの動作は指の細かいコントロール力が鍛えられるので手先の器用さの向上につながります。

2 集中力と忍耐力の向上

折り紙は視覚と手の連携を必要とし段階的に作業を進めることで集中力を鍛えます。さらに細かい作業を伴うことで注意力や手順を忠実に追う力が求められるため忍耐力も鍛えられます。

3 空間認識能力の向上

折り紙の手順では折り目や角度、形の変化を視覚的に把握します。さらに2次元の平面を操作しながら3次元的な形状にしてそれが最終的にどのような形に変化するかを考える必要があるため空間認識能力が鍛えられます。

4 創造性の発揮

折り紙を折り進めると新しい発想を試したり、予期しない形の美しさに気付いたりします。さらには色や模様が異なる紙を使ったり、複数の折り紙を組み合わせてたりすることで作品を楽しみ創造性が刺激されます。折り紙遊びで培われる創造力は、問題解決能力、デザイン能力や新しいアイデアを考える力など、応用可能なスキルを身に付けることにもつながります。

5 コミュニケーションの促進

友達や家族などと一緒に折り紙を折る場面では手順を教えたり作品を見せたりすることで、自然なコミュニケーションが生まれます。折り紙を通じた交流では相手の考え方や創造性に触れる機会が増えます。

6 記憶力と指示理解力の向上

折り紙を繰り返し練習する中で手順を自然と記憶し、次第にスムーズに作業を進められるようになるため記憶力が強化されます。折り紙の図解や説明を見ながら進む場合、指示内容を正確に捉えてそれを具体的な動作に変換する指示理解力の向上にもつながります。

7 達成感と自己肯定感の向上

最初は難しいと感じた折り方でも、練習や工夫をすることでだんだん上手に折れるようになります。このような経験が自分の成長を認識し自己肯定感の向上につながります。完成した作品を一緒に共有することで喜ばれたり評価されたりすることに自信も生まれてきます。小さな成功体験の積み重ねで達成感と自己肯定感を育むことができます。



梅雨の時期。家の中で、お子さんと一緒に折り紙をしてみませんか？ きっと会話が弾み、お子さんの笑顔や良さに触れる時間となるでしょう。

